



# Weekly Report

「ロータリーライフを楽しもう」

～ サービスを通して ～

佐世保北ロータリークラブ 2016～2017 年度 RI 長 / ジョン F. ジャーム ガバナー/崎永 剛

会長/藤井良介 幹事/宮崎有恒 例会場/佐世保市島瀬町 7 番 7 号 西沢本店 8F カトレアホール (毎週月曜日)  
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市上京町 6 番 21 号 上京ビル 4 階 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201  
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本 日】会員数 43 名 出席 23 名 欠 席 7 名 出席規定免除会員 (13) 出席 10 名 ビジター 0 名 出 席 率 82.50%  
 【前回回】会員数 43 名 出席 25 名 メークアップ 4 名 出席規定免除会員 (13) 出席 8 名 修正出席率 97.37%

## 《創立記念卓話》

### 「北ロータリークラブと私と

ロータリーの心について」

富田耕司会員



北ロータリークラブの創立総会が昭和 59 年 4 月 16 日に玉屋別館で行われたのは 33 年前のことで、私が 37 才の時でした。会員 35 名でのスタートで、逸見 G、富永特別代表、田中丸善三郎 P G 他、多くの出席者のもと行われました。村上会長、松尾幹事他先輩が緊張し戸惑っていたのを思い起こします。平均年齢 44.8 才と、近年にない若年の会員が揃ったクラブとのことで期待されました。

ロータリークラブは、クラブ創立をし、R I から認証状を受け取ることでクラブとして認められます。それまでは仮クラブとしてのスタートです。

クラブとしての R I 承認は昭和 59 年 5 月 14 日になされましたが、クラブとして認知のお披露目として R I 加盟認証状伝達式が、準備期間を経て 1 年後の昭和 60 年 4 月 13 日に親和銀行のホールで盛大に行われま

した。その認証状伝達式のことを<チャーターナイト>といい、出席メンバーを<チャーターメンバー>とすることで、41 名でのスタートとなりました。



### 「設立総会」「認証状伝達式」「公式訪問」

村上初代会長は「一に親睦、二に親睦、三四がなくて五に親睦」と常に話されていました。クリスマス会や親睦家族会が数多く開催され、会員及び会員夫人の親睦が目指されました。夫人も若い方が多く、華やかな気持ちになったことを思い出します。会の運営は会長、幹事、役員が全てやってくれて、私は指示されたことをやるという気楽なものでした。

スタートしてから暫くは公式訪問や例会に富永特別代表や畑田拡大補佐が度々出席され、見守ってくれているようでした。また事務局も中央病院の方が手伝ってくれていましたので、運営はスタートから上手いだったと思います。



「懇親会」

北ロータリークラブを育てることに先輩諸氏が情熱を持って当然のこのように援助していただいたことは、振り返れば有難いことだったと思います。

会員増強については、会員数が1年目35名、2年目41名、3年41名と増加し、創立10周年時には61名、15周年時には65名となり、16年目にピークを迎え68名まで増えました。しかし創立20周年を境に50名程度となり、現在43名まで減少しています。会員の減少は高齢化という避けられないことの他に、地域において新しいクラブが中央、東南、ハウステンボスと増えていったこと、ロータリーに対する魅力が理解できないまま退会される方が多くいらしたことも大きな要因かと思えます。入会者、退会者が多く、メンバーの入れ替わりの多いことはクラブとして良いことか疑問に思えます。

ではどうすればいいのか、この課題を皆さんと共に考えたいと思います。

私はクラブ入会以来、親睦委員をスタートにクラブ奉仕部門の委員、委員長を務め、8年目から理事となりました。それから国際奉仕、社会奉仕部門を務め、11年目には豊島会長のもと幹事を務めました。その時の副幹事が宮崎君です。創立20周年(平成15年)の時、宮崎幹事と共に会長として会務を運営しました(57才でした)。

この時、20周年事業と通常運営を行うための会合を70回ほど開き、ロータリー漬けの日々でした。20周年記念事業講演に、緒方会員の世話で女子水泳金メダリストの岩崎恭子さんに講演していただいたことを思い出します。会長年度が終わったときは気が抜けて、幹事の宮崎会員共々体調不良になったことを思い出します。

24年目(平成19年)にガバナー補佐に就任しましたが、この時も宮崎会員にガバナー補佐の補佐として活躍してもらいました。また会員の力添えでガバナー補佐としてIMを北ロータリークラブが主管として行い、職業奉仕や会員増強について充実した会合とする

ことができました。大役を受けたときのクラブ会員の友情の有難さを実感しました。

北ロータリークラブの理事はクラブ補足規定により2年以内というものがありますが、役員にはありませんので、私は平成3年から平成31年まで役員理事を数多く継続しました。

今幹事を務められている宮崎会員は2回目の幹事ですが、緒方会員も2回幹事を務められています。クラブの大切な役を引き受けることは、そのことがクラブ奉仕であり、自己研鑽に繋がり、ロータリーの知識を深めることに繋がったと思います。

今後は若い方々がクラブ運営の中心になってくると思いますが、重要な立場になったとき組織のあり方を再確認し自分としての意見を持つことと、ロータリーの原点とは何かを理解し職業に生かすことで今後のロータリーのあり方を考え、変えるべきは変え残すべきは残し、改善、発展していただきたいと思います。ロータリーの心を理解することについてお話しします。2015年(平成27年)1月31日、緒方年度に宮原ガバナー補佐が主催したIMのテーマ「これからのロータリー」での廣畑PGの講演とパネルディスカッションを参考にしながら話をさせていただきます。

ロータリーはポール・ハリスが1905年に設立した訳ですが、彼は友情を求めてロータリークラブを始めました。真の友情が基本であり、ただ知り合いをつくることではありません。このことが会員として最も大切なことです。それと寛容の精神であり、また大切なものとして職業分類による職業奉仕(サービス)があります。この友情と寛容の心と職業に対するサービスの精神が、他の団体にはない特別なものだと思います。入会して一番理解できにくいものがクラブ奉仕と職業奉仕ではないかと言われていました。後に続く社会奉仕や国際奉仕は、それなりにクラブとして活動したり、個人で活動する解りやすいあり方がありますので、理解されやすいものと思います。

日本のロータリーの指導的立場の方々は「ロータリーは慈善団体でもなく、発展途上国への援助が目的でもなく、金集め人集めが目的の団体でもない」と話し、「本質に素晴らしい魅力がある」と言いますが、それを発見できる方がどのくらいおられるのかは疑問です。

ロータリーの本質は慈善ではなく倫理性を大切にする団体です。会員それぞれが異なる職業の代表として、如何に自分の職業において倫理性を高め同業のモラルを高められるかは大切なことです。

日本においては奉仕という言葉がサービスの訳語として使われるようになっていますが、このことがロータリーを解りにくくしている1つだと思います。サービスは人のためになる行為全体を指す一方、奉仕は狭い意味の尽くすことを指します。奉仕をサービスに置き

換えることで、ロータリーの精神が少し解るような気がします。

職業を通じて人のためになるように職業活動を行い広げることで、自分に対してとその組織の職業が信頼を得ることによって繁栄することができるとしたら、幸せなことかと思えます。

寛容の精神は、皆が友達になり平和に暮らすことを望んでいます。一方で豊かになりたい自己の願望も強いものがあります。政治的、宗教的、民族的に人を分け隔てせず、人の過ちを許すことができる心を持ち、自分と異なった考えと価値観を認める心が友情の基となると思います。これは家庭にも職業にも当てはまります。寛容の精神はどうあるべきか、競争の社会の中で人それぞれ意見の分かれるところでもあります。ロータリーについて知識を深めることが、道徳や倫理観を高め、そのことが信頼信用に繋がり職業が立派になっていき、友情がより確かなものになり、みんなが幸せを感じることができる理想に近づく方法の1つであることを願います。

## 《会長挨拶》

### 藤井良介 会長

本日は、富田会員による創立記念卓話になっております。クラブの楽しい貴重な話を期待しております。お父様は佐世保南RCの創立メンバーであり、御本人も私たち北クラブの創立メンバーで、ガバナー補佐まで経験されていますので、ロータリーに関しては北クラブでも最も詳しい御一人だと思います。卓話、よろしくお願い致します。

さて「がん」についての「サイエンス」3月24日号に掲載されたニュースについて紹介したいと思います。癌と診断されたとき、多くの人が「なぜ自分が」という思いを抱くが、その答えは簡単ではないようだ。がんの原因の多くは偶然に起きた遺伝子の複製ミスであることが、「Science」3月24日号に掲載の研究で示唆された。

米ジョンズ・ホプキンス大学（ボルティモア）の研究グループは、がんゲノムのデータベースである The Cancer Genome Atlas (TCGA) および Cancer Research UK データベースから得た疫学データを用いて、32のがん種について異常細胞の増殖を促進する突然変異を追跡する複雑な数理モデルを作成した。がんの発生には通常、複数個の遺伝子変異が必要とされることは以前から知られている。これらの遺伝子変異が起こる原因としては、環境要因、両親から受け継いだ遺伝的要因、もしくは偶然に起きた単なる DNA 複製時のミスが挙げられる。今回の解析によると、がんの大部分は偶然の DNA 複製ミスが原因で発生していると考えられたという。

今回の研究では、がんを引き起こす突然変異におけ

る DNA 複製エラーの割合を初めて推定した。解析によると、たとえば、膵がんの77%は偶然に起きた突然変異により発生し、18%が環境要因、5%が両親から受け継いだ遺伝的要因によるものと推定された。ただし、がん種によっては生活習慣や環境による影響が大きいものもあり、肺がんの場合は65%が喫煙などの環境要因に起因し、DNA 複製ミスによるものは35%にとどまっていた。しかし、32種類のがん全体で見ると、3分の2は偶然に起きた DNA 複製ミスによって発生しており、29%が環境要因、5%が両親から受け継いだ遺伝的要因によるものだという。「とくに小児がんは、ほぼ全例が偶然に起きた DNA 複製ミスに起因するものと考えられる」と同氏は話している。

研究共著者である同大学ルードウィクがん研究センターの Bert Vogelstein 氏は、「がんの突然変異リスクを上昇させる環境因子や生活習慣因子は、今後も回避するように広く推奨していく必要がある。しかし一方で、どんなに完璧にこれらの要因に配慮しても、DNA 複製ミスによるがん発生は妨げないだろう」と指摘する。このことから、あらゆるがんを治療可能な早期段階で発見する優れた診断法の開発が切望されると、同氏は付け加えている。以上です。

## 《幹事報告》

### 宮崎有恒 幹事

#### 1. 来信

##### ・公財) 米山記念奨学会

終了奨学生のカウンセラー対象アンケートのお願い

##### ・ロータリーの友事務所

①ロータリーの友4月号

②インターアクトクラブの件について

(「友」掲示板へ掲載用 佐世保高専 IAC 情報)

##### ・国際ロータリー日本事務局

[RIJO-FAQ] 配信履歴(~2017年3月末)

##### ・地区大会事務局

①地区大会「インターアクト加盟認定式」リハーサルについて

日時：4月15日(土)9時50分頃より10分程度

場所：長崎ブリックホール 大ホール

集合時間：9時30分

集合場所：1Fロビー来賓受付

②青少年の集い

担当者連絡先のお知らせ(2名) 宮崎幹事へ

③親睦ゴルフ大会組み合わせ表



・ガバナー事務所

物故会員の確認について

・ガバナーエレクト事務所

2017～18年度クラブ米山記念奨学委員長セミナー  
開催のご案内

日時：5月14日（日）

13：00 受付 13：30 開会 16：30 閉会予定

会場：東彼杵町総合会館

（東彼杵町東彼杵宿郷 706-4 TEL0957-46-0114）

・牛津RC

牛津RC創立40周年記念式典のご案内

日時：5月27日（土）

登録開始 15：30～16：00 式典：16：00～17：17

記念講演：上甲 晃氏 17：20～18：50

祝賀会：19：00～20：30 登録料：10,000円

・佐世保南RC

2017～2018年度第2回市内RC会長・幹事会開催  
のご案内

日時：5月24日（水）18：30～

場所：セントラルホテル佐世保

3. 伝達事項

①4/14（金）地区大会地区指導者セミナー17:00～  
RI 会長代理晚餐会 18：30～

4/15（土）10：45～ホテルニュー長崎  
1Fレストラン「ハイドレジヤ」にて  
会長主催の昼食会、  
12：00～本会議、IAC加盟認定式、  
記念講演、  
18：30～記念懇親会

4/16（日）8：00～記念懇親ゴルフ大会、  
9：00～青少年の集い（軍艦島クルー  
ズ）が開催されます。

②4/17（月）次回例会は地区大会報告 宮崎有恒幹事  
です。

《委員会報告》

渡会祐二 親睦委員長

4月2日の観桜会にご参加いただいた皆様には大変  
ありがとうございました。「ちらほら」ではありません  
が、桜の花を見られてホットしております。

岡井正明 雑誌文献広報副委員長

『友』4月号の案内をいたします。①表紙裏に「アト  
ランタ・ロータリー国際大会登」登録の案内がありま  
す。②「インターアクト」特集が掲載されています。  
60年代は手洗いの洗車が、70年代には鹿児島桜島  
の落書き消しなどの活動の記事があり、昔を彷彿とさ  
せます。③また「女性会員で広がる多様性」で女性会  
員について特集されています。

《ニコニコBOX》

東田賢二 親睦活動委員

藤井良介会長 永田武義副会長 宮崎有恒幹事

本日の卓話は「創立記念卓話」です。33年前の19  
84年4月16日に創立された佐世保北RCの歴史  
を、チャーターメンバーの富田耕司会員に語って  
いただきます。どうかよろしくお願ひいたします。

村上寅雄君

1984年、呱呱の声を上げて本日は33周年の創立  
記念卓話です。富田さん、お疲れさまです。会員の皆  
様とともに初心に戻って、ロータリーを頑張り、かつ  
大いに楽しみましょう。

富田耕司君

今日は卓話の当番です。皆様よろしくお願ひします。

渡会祐二君

本日娘の沙也果が小学校に入学しました。自分の身長  
より大きく見えるランドセルの姿に心配しつつも、親  
としてうれしい限りです。ニコニコします。

豊島揆一君	平石晃一君	小西宗十君
古賀新二君	小川 寛君	二ノ宮 健君
宮原明夫君	中山 誠君	中野雄一郎君
湯口純二君	近藤竜一君	峯 徳秀君
森 豊君	蒲池芳明君	村瀬高広君
松尾重巳君	渡会祐二君	田島 慎君
松田亜由美君		

富田会員、本日は創立記念卓話お疲れさまです。  
楽しみに拝聴します。

本日の合計 31,000円

累計 1,395,500円